

日経
NIKKEI
CONSTRUCTION

工事ラクション

特集

やまない「7月豪雨」の惨状

特集

転機の道路政策





溶接部の応力を8割減

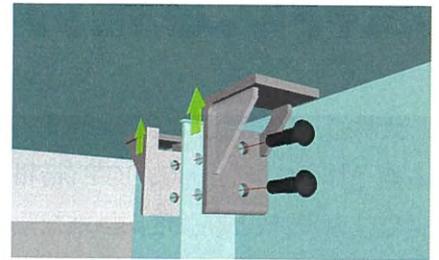
川田工業とMKエンジニアリングは芝浦工業大学の指導の下、橋梁鋼床版の疲労亀裂の進展を防ぐKMリフト工法を共同で開発した。特殊な機材を使わずに、溶接部への応力を80%程度低減できる。道路規制や舗装の撤去が不要で、施工時間の短縮や施工コストの削減につながる。都市高速道路で試験施工済みだ。

垂直補剛材とデッキプレートとの両方に、専用の補強部材「KMリフト」を密着接合させる(図1)。

通常、両部材のボルト接合には、道路規制や舗装の撤去など大規模な作業が必要になる。一方、垂直補剛材と補強部材をボルトでただつなぐだけでは接合が不十分となり、応力を補強部材に伝達する効果が薄まる。

そこでKMリフト工法では、密着接合を工夫した。補強部材のボルト孔が垂直補剛材の孔よりも1mm弱、下にずれるように開けておく。孔がずれた状態で支圧接合用高力ボルトを打ち込むと、ずれていた分だけ補

図1 ■ 補強部材をボルトで密着接合



少しずれた孔に支圧接合用高力ボルトを差し込んで、補強部材が上のデッキプレートに密着接合するイメージ(資料:川田工業)

強部材が持ち上がり、デッキプレートとの密着性が高まる。ボルト本体への影響は生じない。(真鍋 政彦)

ウェブ運動 xtech.nikkei.comで検索
鋼床版の新疲労亀裂対策、補強部材の「びたり接合」で80%の応力減

福島県職員 募集

～福島県在住者に限らず、福島県にUターン・Iターンし、職務経験で得たノウハウなどをいかして、復興や地域づくりの推進など、福島県のために尽力できる方をお待ちしております。～

職務内容・勤務地 土木部等の本庁又は出先機関等において、道路・河川・港湾・空港等の整備に関する工事の設計・監督、維持管理、都市計画等の業務に従事します。

受験資格 ●昭和36年4月2日以降に生まれた者
●民間企業等における職務経験を5年以上*有する者(2020年7月末日現在)
*1年未満の就業期間及び1月を超える休職、休業その他の職務に従事していない期間を除く。

採用予定人員 土木職 8名程度

募集期間 令和2年7月27日～8月21日
日程 第一次試験日 令和2年 9月27日
最終合格発表日 令和2年12月 4日

お問い合わせ先 福島県人事委員会事務局
〒960-8681 福島県福島市杉妻町2-16 ☎024-521-7590

民間企業等で培った
柔軟な発想力や現場感覚を、
県土づくりにいかしてみませんか。

詳しい情報や試験案内のダウンロード、受験申込などはこちらから 2020年度福島県職員(民間企業等職務経験者)採用候補者試験
[URL] <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/saiyou/min.html>

